



背景

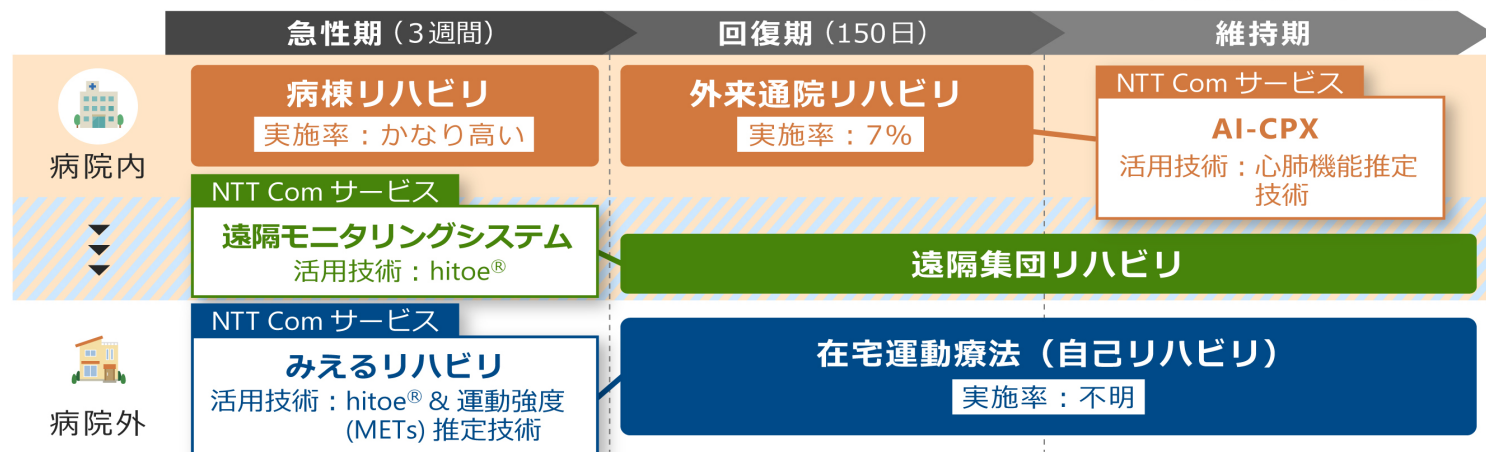
日本人の死因第二位は心疾患です。その再発予防に心臓リハビリテーションが効果的ですが、外来での実施率は7%と非常に低いのが現状です。その背景には検査機器や体制の整ったリハビリ施設が少なく、頻回に通院できないなど、患者がリハビリを継続しにくい環境が挙げられます。

成果の概要

心臓リハビリをどこでも、安心してできるスマホアプリ「みえるリハビリ」、遠隔で集団心リハを可能にする「遠隔心電モニタリングシステム」、心肺負荷試験を簡単にできる「AI-CPX」の3つのサービスを心肺機能推定技術、運動強度推定技術、hitoeで実現します。

心疾患患者の運動実施状況とNTT Comのサービス

■ 保険適用 ■ 保険適用外
■ 保険適用に向けて検討中



技術のポイント

- 機械学習に基づく最新の心肺機能推定技術
- 国内唯一の「METs (運動強度)」を使った自己リハビリ支援アプリ
- 複数拠点、複数人の同時リアルタイム遠隔心電モニタリングシステム

この研究がもたらす未来

これらのサービスが心臓リハビリの実施率の低さを解消し、かかりつけ医で検査を行い、仲間と楽しく集団リハビリし、自分でいつでもどこでも安心してリハビリに取り組める環境を実現します。

コラボレーションパートナー

榊原記念病院、聖マリアンナ医科大学、昭和大学、聖路加国際大学、横浜市立大学

出展企業

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、
日本電信電話株式会社、NTTテクノクロス株式会社

問い合わせ先

mieriha-help@ntt.com